

沖縄・辺野古.....米軍新基地建設.....



もう止めるしかありません

造っても崩壊する!?

沖縄県民の意思を踏みにじて安倍政権が強行する沖縄・辺野古への米軍新基地建設計画は、道理も完成の見通しも全くありません。

辺野古の海への土砂投入の進捗はわずか1%。県が以前から指摘していた通り、建設予定地に軟弱地盤が広がり、国も建設に12年以上、9300億円以上かかると認めました。市街地のど真ん中で住民の命を脅かす普天間基地の「一日も早い危険性除去のため」との説明は、真っ赤なウソです。

しかも国は、地盤改良工事ができる水深70mより深い層に軟弱地盤があるとのデータを隠していました。専門家は「(基地を)造っても崩壊する」と警告しています。

予算はコロナ対策へ

そもそもこの基地は「日本防衛」とは無縁の、アメリカの「殴り込み部隊」海兵隊の出撃基地。巨額の税金投入はやめるべきです。

グテレス国連事務総長は地球規模の停戦を呼びかけ、「私たちの命をかけた新型コロナウイルスとのたたかいに力を結集する時だ」と呼びかけています。新基地建設の予算は、集中治療室のベッド10万台、人工呼吸器3万台、看護師5万人と医師4万人の給与に匹敵するとも言われます(NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)試算)。基地建設は中止し、今こそその予算を感染症対策、医療と国民の被害補償のために振り向けるべきです。

普天間基地は撤去を

新基地建設中止を求める署名、日米地位協定改定を求める署名にご協力ください



署名用紙は日本平和委員会HPからダウンロードできます→

日本平和委員会 2020年4月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館 4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277